

LEDバルブキット
H3
LED BULB KIT

自動車用品／ボデーパーツの総合会社
日本ボディ工業株式会社
商品に関するお問い合わせは下記ホームページをご参照ください。
<http://www.nihonbody.com/>



LEDバルブキット
LED BULB KIT **H3**

LEDバルブキット

取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本説明書に記載の注意事項をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。お読みになった後も本説明書は大切に保管し、紛失しないようご注意ください。本文中の△注意マークと△警告マークは取り付け及び取扱いに関して大変重要な事項ですので必ず厳守してください。

作業の前に

- 本製品は、未登録車(登録前の車両)への取り付けは出来ません。必ず登録後の車両へ取り付けてください。
- 本製品は車検対応品ですが検査官によっては不適合と判断される場合があります。あらかじめご了承ください。取付作業を行ってください。
- 本製品は純正ハロゲンフォグラムのH3LEDバルブキットとして設計しています。その他のランプの用途で利用した場合、車検基準に適合しない場合や製品が故障する場合がありますので、絶対に取り付けを行わないでください。
- 取り付けの前に下記「LEDバルブ点灯テスト要領」を参照し、必ず点灯テストを行ってください。
- 本製品を使用することによりラジオなどに雑音が入る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は使用するランプの種類によっては点灯時に色調が異なって見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品を使用することにより、一部の車両では球切れ警告灯が点灯したり、点滅などが発生する場合があります。その場合は本製品を使用しないでください。

安全上のご注意 △注意

- 本製品は12V車、24V車共用です。6V車や48V車では使用できません。
- 本製品の取り扱いには十分注意し、落としたり無理な力を加えたりしないでください。特にLED素子は大変壊れやすくなっているため、ぶついたり触ったりしないでください。
- 取付作業は必ずエンジンを切り、ランプスイッチをOFFにして行ってください。
- 点灯中や点灯直後はバルブが熱いため、やけどなどにご注意ください。
- 本製品の改造や塗装は行わないでください。
- 点灯中のバルブを直視しないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となることがあります。
- 幼児の手の届く場所に置かないでください。誤飲やケガの原因となることがあります。
- 本製品を使用中に不具合が発生した場合には、速やかに使用を中止して純正バルブに戻してください。
- 本製品を使用したことによる車両装置の不動作や誤作動、それらにより生じた事故や損害については一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は防水・耐塵設計になっていますが、水滴や泥、粉塵等が直接触れないようにしてください。また、車両の清掃や整備時に、オイルやケミカル類等がかからないようにしてください。
- 本製品はハロゲンバルブに比べ発熱量が少ないため、フォグランプに付着した雪や氷が解けにくい場合があります。あらかじめご了承ください。

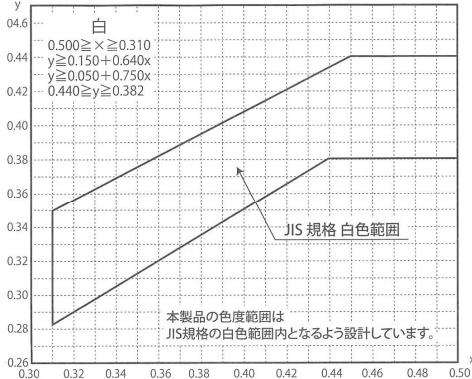
激光

LSL-601W

車検に関して

本製品は、下記に示す車検審査の性能要件を満たす車検適合品ですが、純正バルブとは異なった光に見え、車検不適合と判断される場合がありますので、車検審査時にこの書類を審査官に提示願います。(経年劣化などで、灯具の損傷やレンズ面に汚損がある場合、バルブ本来の性能が発揮できない場合があります。)

発光色「白色」白色光の色度範囲

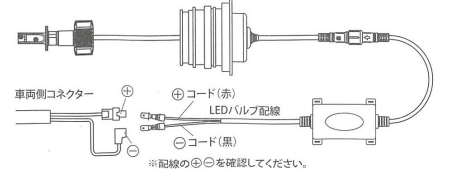


LEDバルブ点灯テスト要領

※取付前に必ず左右とも行ってください。

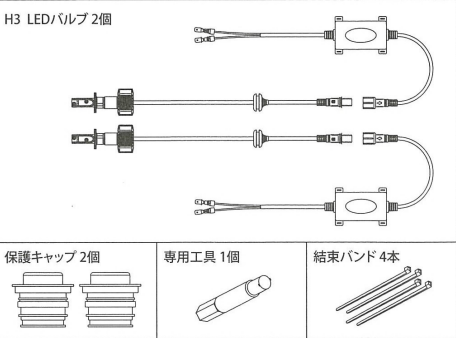
＜点灯テスト手順＞

- ①純正ハロゲンバルブのコネクターを外してください。
- ②①で外した車両側コネクターに本製品の配線の⊕⊖確認して確実に接続してください。
- ③ランプスイッチをONにして、LEDバルブが正常に点灯することを確認してください。
- ④車両の計器類に警告表示がでないことを確認し、点灯テストを終了します。

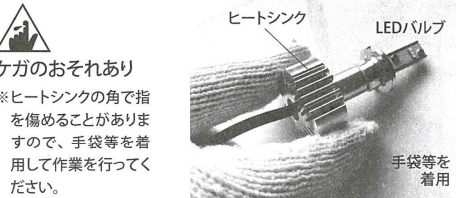


△警告 コネクターが抜けた状態で、ランプスイッチをONにしたリテスターを当てたりしないでください。車両の警告灯が点灯する恐れがあります。

構成部品



取付手順と要領 △警告

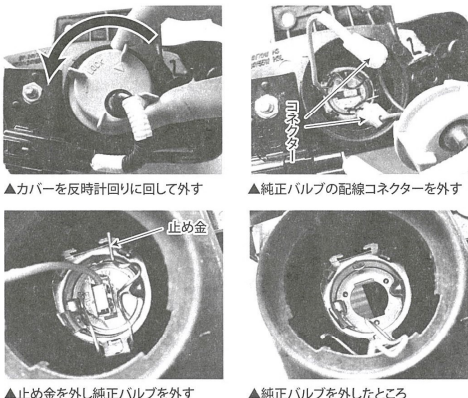


[1] フォグランプの確認

- ①フォグランプの取り付け状態を確認してください。バルブ交換に伴う作業スペースが狭い場合は、フォグランプユニットを車両から外して作業を行ってください。

[2] 純正バルブの取り外し

- ①フォグランプ裏面のカバーを外してください。
- ②純正バルブの配線コネクターを外してください。
- ③バルブ止め金具を外し、純正バルブ(H3)を取り出してください。

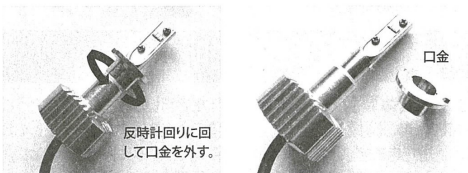


※フォグランプの形状や純正バルブの取り外し方は、メーカーや車種によって異なります。詳細な作業手順は、取り付けを行う車両の取扱説明書を参照してください。

[3] LEDバルブの準備

- ①下図を参考にLEDバルブから口金を取り外してください。

△注意 ※LEDバルブ本体から口金を取り外す際は手袋などを着用し、清潔なウエスで口金を持って作業を行ってください。素手で作業すると、ケガの原因となることがあります。



[4] 口金の装着

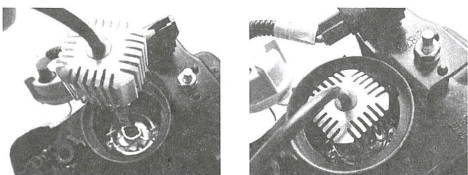
- ①LEDバルブ本体から外した口金に専用工具を差し込み、右(時計回り)に回して、口金を保持してください。口金に専用工具を差し込む際、口金の差し込み部には大小2個の凹部があります。専用工具先端の大小2個の凸部に合わせてください。
- ②口金が保持されていない側の専用工具の先端を持って、フォグランプのバルブ設置面の形状に合わせて、口金をフォグランプのバルブ設置面に押し当ててください。
- ③口金を押し当てた状態で、フォグランプのバルブ止め金具で口金を固定してください。
- ④専用工具を左(反時計回り)に回し、口金から専用工具を抜き取ってください。
- ⑤フォグランプのバルブ設置面に口金がしっかり固定されているか確認してください。



[5] LEDバルブ本体の装着

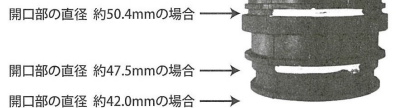
- ①口金の大小2か所の凹部とLEDバルブ本体の大小2か所の凸部を合わせ、LEDバルブ本体を口金にまっすぐ奥まで差し込んでください。
- ②LEDバルブ本体を右(時計回り)に回転させて、LEDバルブ本体を固定してください。
- ③LEDバルブ本体がしっかり固定されているか確認してください。

△警告 ※LEDバルブ本体を無理な力で回転させないでください。また、工具を使って回転させないでください。LEDバルブ本体やフォグランプが破損するおそれがあります。



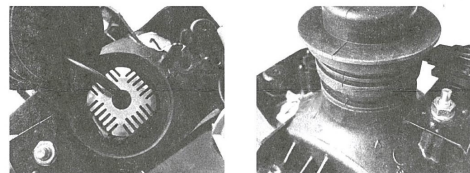
[6] 保護キャップの準備

- ①フォグランプ裏側の開口部の直径に合わせて、保護キャップをカッターナイフ等で切ってください。保護キャップには2本の「切り取り目安線」が付いています。その線に沿って保護キャップを切ってください。
- ※開口部の小さいフォグランプは保護キャップを切らずに、そのままお使いください。
- ※保護キャップを使用せずに、取り付けができるフォグランプもあります。



[7] 保護キャップの取り付け

- ①保護キャップの先端に開いている穴にLEDバルブのハーネスを通し、保護キャップをフォグランプの開口部にしっかりハマ込めください。
- ②LEDバルブのハーネスに付いているブッシュの位置を調整して、保護キャップ先端の穴にハマてくください。
- ③フォグランプ内でハーネスが無理に曲がっていないか、LEDバルブ本体が保護キャップに当たっていないか等を確認してください。
- ④フォグランプ内に雨水等が入らないように、防水処理を行ってください。



[8] コネクターの接続

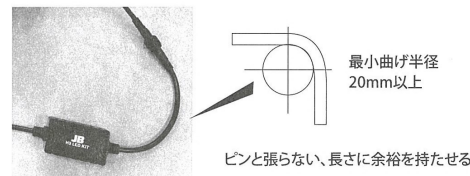
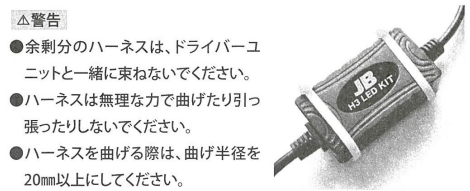
- ①車両とLEDバルブの⊕線、⊖線を繋いでください。LEDバルブの⊕線は赤色、⊖線は黒色です。配線の先端には平端子が付いています。車両のコネクターにしっかり差し込んでください。
- ②配線がしっかり繋がっているか確認してください。
- ③平端子の接続部分は防水処理を行ってください。

△注意 バルブの脱着頻度が多いなどで、車両のコネクター端子が変形し、広がっている場合があります。その場合は、先端の小さいマイナスドライバー等でコネクターの差し込み側から広がった端子を狭めてください。



[9] ハーネス、ドライバーユニットの固定

- ①ドライバーユニットを付属の結束バンドでフォグランプユニット周辺の適切な場所に固定してください。不安定な場所、回転部品の周辺、熱くなる場所、鋭利に尖った場所等は避けてください。
- ②余剰分のハーネスを適切な場所に固定してください。



[10] フォグランプの点灯確認

エンジンを始動し、フォグランプスイッチをONにして、正常に点灯することを確認してください。

保証に関しまして

- ①本製品の保証期間はご購入後より2年です。但し、ご購入後日数が特定できるシールや領収書等をご提示ください。
- ②取付時の注意事項、使用時の注意事項に従い、正常にご使用された場合に保証対象となります。
- ③保証範囲は本製品の交換のみにさせていただきます。脱着工費、その他補修費、車両回送費、諸経費などは保証範囲外とさせていただきます。
- ④保証期間中でも下記内容の場合、保証対象外となります。ご了承ください。
 - (1)保証期間中でも、使用上の誤り、または不当な修理や改造を行った場合。
 - (2)使用上の過失による落下などの衝撃による故障・損傷は保証期間内でも対象となりません。
 - (3)保証期間を過ぎてからの故障・不具合等につきましては、修理・交換は対応できません。
 - (4)保証につきましては、日本国内のみ有効となっております。
